



まちづくり団体の取り組み
～こんなことやってます～

まちづくり, つむぎの里の手づくりイベント
「結城まちづくり研究会」(結城市)

はじめに

結城市は, 関東平野のほぼ中央, 茨城県西北端の県境に位置し, 東西に国道 50号や JR水戸線が通り, 茨城県の西の玄関口となっています。

結城は古くから織物の特産地として発展し, 当地方で織られる「本場結城紬」は「いざりばた」という我が国最古の織機を使って生産され, 国の重要無形文化財に指定されています。

また, 今でも市内には神社・寺院等が点在しており, 街並みには土蔵等も見られ城下町の名残を残しています。

近年では都市化の進展とともに, 新しい市街地の開発や産業の立地などがすすみ, 首都圏内の主要な開発地域として注目を浴びながら, 北関東地域の中核都市となるべく発展しています。

結城まちづくり研究会って

結城に生まれた子どもたちが, 自慢気に故郷の素晴らしさを語れる。そんなまちに結城市を作り上げて, 次の世代に渡したい…。」そのような希望を持つ人達が集まり, まちづくりについて話し合い, 実行していく, それが「結城まちづくり研究会」です。

「結城まちづくり研究会」は会則も会費もありません。従ってイベントなども参加者の負担のほかは, ほとんどが会員の自前(手作り)で行っています。

まちづくり研究会が本格的な活動を始めたのは, 平成元年からです。活動内容としては, イベントの企画・運営, 福祉ボランティア, 講演会, 事例研究, 行政への提言など幅広い活動を行っています。また, 会員の中の紙芝居の名人による, 「結城合戦」などの自作・実演をはじめとして「ペーゴマ・竹馬づくり」など, 昔ながらの遊びを伝承ゲームとしてイベント等に積極的に取り入れています。



つむぎの里の手作りイベント

さわやかウォッチング

はじめに紹介したように, 結城市は昔の名残が息づく伝統のまちです。この特色を活かして, 地域の拠点施設や文化遺産をネットワークする「全市公園化構想」や, 築地塀やせせらぎ, ポケットパークのある「つむぎのふる里歴史の道整備」など, 地方文化や伝統を大切に作るまちづくりが積極的に進められています。

近年, 秋に「まちづくり研究会」が企画・実施するオリジナルイベントとして, つむぎの里を背景とした市民手作りの市内散策, 「さわやかウォッチング」があります。

このウォッチングは地域の史跡や伝承を通して街を見渡し, 官民一体のまちづくりにつなげようというもので, 奇抜なアイデアとユニークさが市民はもとより市外からの参加者にも大変好評であります。

初回は, 市内で語り伝えられている伝説や民話を訪ね歩く「民話ウォッチング」、結城氏にまつわる埋蔵金伝説をめぐる「埋蔵金ウォッチング」、結城城跡一帯や結城氏ゆかりの地を会場にした「結城合戦日本一すごろく」などが実施されました。



現在取り組んでいること

まちづくり研究会は、現在、結城市の木「桑」を日常生活に取り入れることに取り組んでいます。

桑の木は、結城市の伝統にゆかりがあり、結城紬・養蚕業に深い関係があるため、結城市内では昔から数多く植栽されています。春の新芽の際は、目にしみるような新緑の美しさを見せ、なじみのある木として親しまれてきました。

しかし、ちょっと前までは市内ならどこにでも見られた桑の木も、現在はほとんど見られなくなってしまいました。

そのような事態に着目したまちづくり研究会では、「日常生活に桑を」を目標に、観賞用の桑を探して苗作りをしたり、「桑の実」を使ったお菓子やジュース作りに取り組む、「桑製品」のイベントでの出展を計画しています。



結城のまちが巨大迷路に

結城の町は、「城下町としての街並みを今に残している」といえば聞こえがいいのですが、初めて訪れた人には迷子になってしまいそうな街でもあります。

「T字路やクランク、路地が多く、気がついていたら元の場所に戻ってしまった」そんなこともあるのです。

このような城下町特有の街路を利用して行われたウォッチングは「親子で楽しむ結城歴史迷路大会」と命名され、街全体を巨大迷路として開催されました。

このときはまちづくり研究会単独ではなく、市役所・青年会議所・婦人学級・お話し会・高校生ボランティア・子ども育成連合会などが協賛した大掛かりなイベントとなり、結城市内外から300人以上が参加して、盛大に行われました。

結城の良さを歩いて体感

ウォッチングは、マップと通行手形、記念のチェックポイント手拭いをもらうことからスタートしました。

マップには、紬資料館をはじめとして神社仏閣・伝統産業の桐タンス工場・桐下駄工場・酒造工場などがしるされていて、通行手形は、伝統産業の桐下駄を利用して作ったもので、これを見せると、マップ上の施設の無料見学や、試食などができます。

そして昼食会場では、あったかい郷土食「とっちゃ投げ鍋」を用意。参加者一同は「結城市にこんな所があるなんて、今まで知らなかった。新しい発見ができて、とても楽しかった。」と結城の良さを実感しており、イベントは大成功に終わったとのことでした。



より良いまちづくりに向けて

今回の取材をした時に、「結城市は文化と歴史のあるまちというけれど、それを語れる人ってどれだけいるのですかね。まず、結城市のよさを再認識して、市内外の人に結城をもっともっと知ってもらいたいですね。」と語られた佐藤さんの言葉を聞いて、「自分はどれだけ普段生活しているまちのことを知っているのだろうか」と疑問を感じてしまいました。「まちを知る」ということは、まちづくりをすすめるうえではとても重要だということを改めて感じました。(編集委員 T.T)

問い合わせ先
結城市結城 1447 結城市役所内
佐藤 修一
Tel: 0296-32-1111